

23 手術患者平均在院日数とDPC入院期間Ⅱの比較

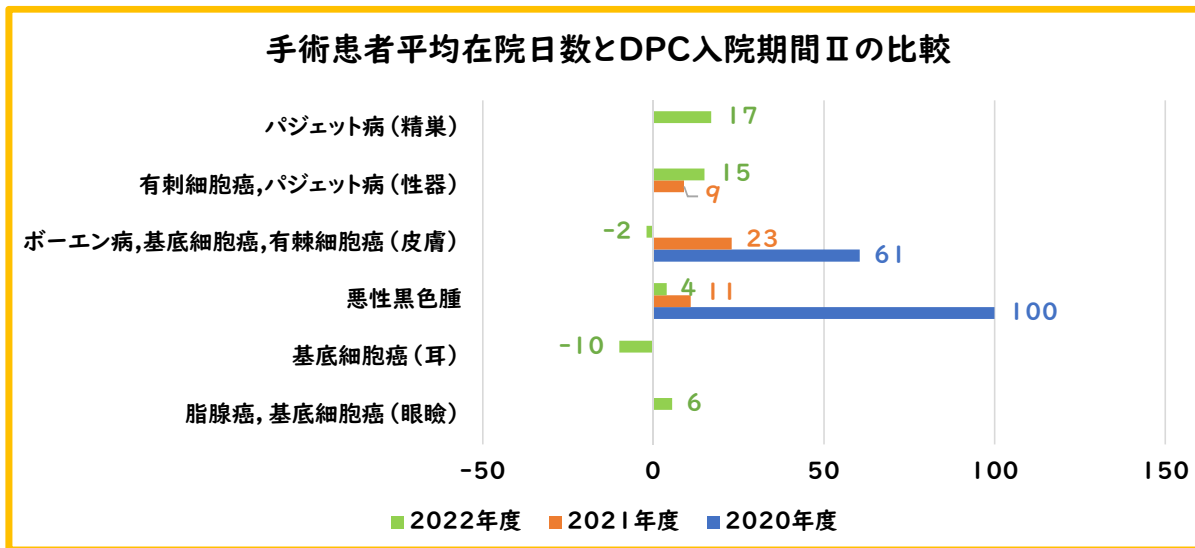
在院日数が長くなる傾向にある疾患・手術の場合
手術：①皮膚悪性腫瘍切除術（広汎切除） ②皮膚悪性腫瘍（単純切除）

皮膚科

◆解説◆

DPCの入院期間Ⅱ（全国の平均在院日数）と比較し、手術患者の診療の質の向上を図り、全国との治療の標準化を目指しPDCAサイクルによる改善を試みます。入院期間の短縮は、患者さんの早期の社会復帰につながります。また術後合併症が少ないことを示しており、医療の質を評価する指標と考えます。

◆当院の実績◆



◆定義◆

DPCの入院期間Ⅱ（全国の平均在院日数）と比較した疾患別入院期間

◆自己点検評価◆

本手術を要する症例は、術後の創管理の面から通院治療が可能となるまで長期間を要する場合が多いため、期間Ⅱと比較して大幅に平均在院日数が伸びている要因と考えられます。また、当科の特色として、本手術を要する患者（進行癌）が県全域より集中する傾向にあることも要因の一つと考えます。対策として、術後の創管理の期間を短縮できるように改善点を検討する必要があります。